

水野 誠一

株式会社 IMA 代表取締役

1946 年東京生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。

西武百貨店社長、米国ネットスケープ・コミュニケーションズ社顧問、慶応義塾大学総合政策学部特別招聘教授を経て、1995 年参議院議員。同年（株）インスティテュート・オブ・マーケティング・アーキテクチュア（略称：IMA）を設立。（株）Francfranc、オリコン（株）など複数の企業の社外取締役を歴任、2020 年に設立された東京 e スポーツゲート（株）の取締役に就任するなど、多数のベンチャー企業の支援をしている。

1970 年西武百貨店入社以来、マーケティングや新店舗およびリニューアルの基本コンセプト、CI など様々な実績を残し、若者文化の発信地となった“ロフト”を成功に導き、現在の“情報発信基地・渋谷”のアイデンティティを確立させた手腕は高い評価を得ている。

IMA 設立後は流通業の経験を生かして、日本の代表的なディベロッパーの大型商業施設開発のコンサルティングも手掛け、森ビル（株）特別顧問として六本木、表参道ヒルズなどの基本コンセプトづくりにも携わった。

慶応義塾大学総合政策学部ではソーシャルマーケティングを専門とし教鞭を執り、Web ブラウザ“ネットスケープ”の日本導入、ペニンシュラホテルなど多くの外資系企業・ブランドの日本進出を手掛け、国内外のファンドと協力し、企業の再生プログラム策定、ベンチャーに対する資金調達や、マーケティングコンサルティングなどもおこなっている。

参議院議員在任中は、ベンチャービジネスのための環境整備をおこない、政治環境におけるソーシャルマーケティングの重要性を説き、ソーシャルプロデューサーとしても文化的な活動も精力的におこなっており、一般社団法人日本文化デザインフォーラム（理事長）などの活動を通し、日本のデザイン界への啓蒙を進めている。また、一般社団法人 Think the Earth 理事長として広義の環境問題をテーマに日頃より活動している。

「日本リトアニア友好協会／会長」としての長年に渡る活動が評価され、2015 年リトアニア共和国より「Lithuanian Diplomacy Star」受章。

2016 年旭日中綬章受章。

著 書：「否常識のススメ」（ライフデザインブックス）他多数